

新任教員紹介

田中晋作（たなか しんさく）

所属	人文社会学科 歴史学講座
職名	教授
発令年月日	2012年4月1日
最終学歴	関西大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学
担当授業科目	学部：考古学概論，考古学特殊講義，考古学演習，考古学実習 大学院：原始文化論，原始文化論演習 共通教育：基礎セミナー，日本史
研究活動の概要	<p>田中晋作氏は、永らく池田市立歴史民俗博物館・(財)大阪府埋蔵文化財協会など、大阪の行政機関にあって、学芸員・調査員の立場から遺跡と遺物を見つめ、自ら解き明かそうとする考古学的研究課題に地道に取り組んでこられた。このたび、氏は山口大学人文学部考古学研究室の4人目の教授として赴任され、これまで培った行政機関での経験知と溢れるばかりの教育的情熱で研究室を新たな次元へと導かれて行かれるものと期待される。</p> <p>田中氏の研究は、日本の古墳時代、特に百舌鳥・古市古墳群とその時期を研究対象として、日本列島における古代国家形成過程を、軍事史的観点から考古学的手法で行うことを目指している。その成果は博士学位論文としてまとめられ、さらに手を入れて大著『百舌鳥・古市古墳群の研究』（学生社刊、2001年）に結実した。その後、氏は同著で不十分であったと考える研究諸課題について、研究対象地域を朝鮮半島に及ぼして進め、東アジアの国際情勢と緊密に関わった動きが日本列島の政治的動向と関わることを明らかにし、今後さらに一層都市や軍事の問題などに迫り、最終的には軍事史学の構築を志している。</p> <p>既に当該研究分野では名の知れた研究者の一人であり、関西を中心に講演会などを通じて自説をしばしば説いてこられたが、これからはさらに人文学部、そして山口大学のために各地で自説を展開されて行かれるであろうと思われる。</p>